

## 教室種別

児童発達支援・  
放課後等  
デイサービス

てらぴあこころ 名古屋浅間町教室

〒451-0043

愛知県名古屋市西区新道1-19

電話番号:0123-456-7890



## 教室種別

児童発達支援・  
放課後等  
デイサービス

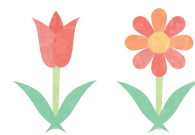
てらぴあこころ 尼崎塚口教室

〒661-0002

兵庫県尼崎市塚口町1-23-10

ナッツダムスタジオネ塚口1階

電話番号:0123-456-7890



## 教室種別

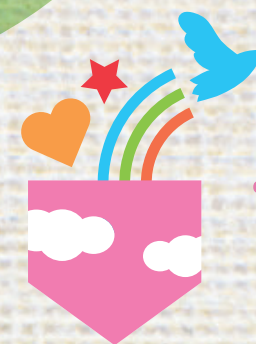
児童発達支援・  
放課後等  
デイサービス

てらぴあこころ 尼崎塚口北教室

〒661-0002

兵庫県尼崎市塚口町4-29-2 ソフィア1階

電話番号:0123-456-7890



# てらぴあこころ

段階別のセラピーをたくさん・小さく・確実に



児童発達支援

放課後等デイサービス

各教室 お問い合わせサポートセンター

TEL

0120-000-981

住所

東京都荒川区西日暮里5丁目34番2号

公式ホームページ

terapiacocoru.com



## てらぴあこころ 名古屋浅間町教室

〒451-0043

愛知県名古屋市西区新道1-19

電話番号:0123-456-7890



児童発達支援  
放課後等  
デイサービス



# 個別と共同で創る 私だけのセラピー



安心の  
サポート  
体制

たくさん

825項目の基準ステップを基に、お子様の発達に合わせたセラピーを専門の指導員が組み立てます。

小さく

こまかく段階分けされたステップを一つずつ登っていくことによって、目標を達成していくプロセスを見つけていきます。

確実に

少人数クラスでその一日一緒になる先生がお子様の成長を見守ります。

専門スタッフ

様々な資格をもった指導員を、本部研修や試験などで、お子様の行動を変えていけるセラピストに昇華させる体制を構築しています。

保護者サポート

日々の療育報告はもちろんのこと、ご家庭での子育てのお悩みや、園や学校であった出来事の共有、適宜個別相談などの体制を取っております。



児童発達支援とは

発達に心配のある子供や障がいを持った子供達が、できる限り身近な場所で支援を受けられるよう、療育を行う専門性のある事業所の名称です。

てらびあこころの児童発達支援

教育・福祉・療育の“どれか1つ”では救えない子どもの困りごとに、てらびあこころは「療育と教育の融合」という新しいアプローチで向き合います。ABAに基づく行動観察と、825段階の発達スケールを使いながら、お子さまが示す「行動というサイン」から支援のヒントを丁寧に読み取り、確実にアプローチします。

児童発達支援てらびあこころの特徴

① 療育×教育の融合

科学的根拠のあるABAと、学びの視点を組み合わせ、お子さまの“今”の困りごとに直接アプローチします。

② 行動から読み取る支援

感情や推測に頼らず、お子さまが見せる行動のサインを丁寧に分析し、必要な支援を確実に積み重ねます。

③ 825段階の発達スケール

細かなステップに沿って、一人ひとりの成長を「できる」に変えていく独自の支援体系を採用。

④ 小さく、確実な成功体験

無理なく進めるスモールステップで、「できた!」の積み重ねと自信を育てます。

⑤ 個別ができれば共同へ

園やご家庭でできないことを個別からセラピーし、習得したことを徐々にほかのお子様とペアで発揮できるような共同セラピーと併行します。

⑥ 専門性と安心の両立

ABAセラピスト・児発管・経験豊富なスタッフが連携し、ご家族様と一緒にお子さまの成長を支えます。



放課後等デイサービス

発達に心配のある子供や特性のあるお子さまが放課後や長期休暇に安心して過ごしなが、生活面・学習面・社会性の成長をサポートする福祉サービスです。

てらびあこころの放課後等デイサービス

就学していきなり集団活動の場に立たされ、ご自身のスキルを発揮できないお子様に、「『小集団＝集団の補習』ではなく、『共同療育』＝一人で、または先生と一緒にできたこと」を、複数のお子様の中で表現して般化することを目的としております。集団に向けて覚えたスキルを、集団の中で発揮するのは「習うより慣れろ」的な発想で飛躍が大きすぎます。共同での練習を少人数で行っていきます。

放課後等デイサービスてらびあこころの特徴

① ABAに精通したセラピストが対応

科学的根拠のある支援を、ていねいに。

② “個別でも集団でもない”共同性支援

ペアや小グループで、協力・順番・コミュニケーション等を習得していきます。

③ 未就学児とは別フロアで集中できる環境

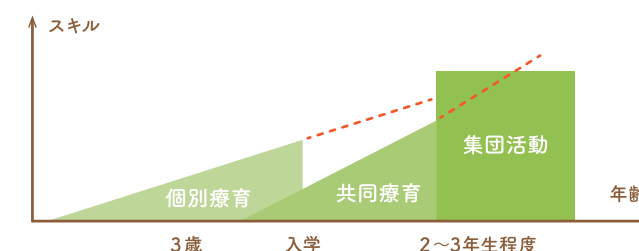
落ち着いた空間で、学齢期に必要な課題に向き合います。

④ 生活能力×学習×社会性の3本柱

宿題サポート、日常動作、ソーシャルスキルトレーニングなど。

⑤ 保護者支援(相談・フィードバック)

成長の見える化と家庭との連携。



|           | 個別療育         | 共同療育            | 集団活動                 |
|-----------|--------------|-----------------|----------------------|
| 先生とお子様の割合 | 1対1          | 1対2<br>又は2対3    | 3対10以上               |
| スキルの目的    | 今ないスキルを入れる   | 獲得されたスキルを試していく  | 今あるスキルで問題を起こさないようにする |
| スキルの獲得目標  | 反応する、知る、表現する | 反復する、補助を使って練習する | 場に慣れる、経験を積む          |